

Best Available Copy

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-126761

⑮ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 平成1年(1989)8月30日

H 04 N 1/00
1/387

B-7334-5C
8839-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑰ 考案の名称 ファクシミリ装置

⑱ 実 願 昭63-24288

⑲ 出 願 昭63(1988)2月24日

⑳ 考 案 者 新 田 博 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

㉑ 出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

㉒ 代 理 人 弁 理 士 有 我 軍 一 郎

明 細 書

1. 考案の名称

ファクシミリ装置

2. 実用新案登録請求の範囲

画情報を送・受信するファクシミリ装置において、各送信先との時差を記憶するメモリと、現在時刻を計時するタイマと、を設け、送信先の電話番号が入力されると、現在時刻と送信先との時差から送信先の時刻を演算し、該送信先の時刻を画情報に付加して送信することを特徴とするファクシミリ装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案はファクシミリ装置に関し、詳細には、時差のある送信先に画情報を送信する際、送信時刻を相手時刻に合わせた時刻に変換して画情報に付加するファクシミリ装置に関する。

(従来 of 技術)

ファクシミリ装置は普及するに従ってその便宜

性を向上させるため、送信元の名称や送信日時等の送信元情報を画情報に付加して送信し、記録紙の上端部等に画情報とともに記録することが行われている。

しかし、近時のように、国際的広がりでファクシミリ通信が利用され、また、米国のようにサマータイムを採用する国でファクシミリ通信が利用されると、送信側と受信側との間に時差が生じる。この場合上記した従来のファクシミリ装置では送信側の時刻による送信日時しか記録されていないので、時差のある受信側では何時受信したのか即座には分からず、受信日時を知ろうとすれば、送信日時から逆算しなければならない。このことは受信人にとって通信情報の管理を行う上で不便である。

(考案の目的)

そこで、本考案は、各送信先との時差をメモリに格納しておき、送信時、送信先との時差から送信先の現在時刻を演算し、画情報に付加して送信することにより、受信側で時差の計算をすること

なく、受信時刻（送信時刻）が一目で分かるようにして、受信情報の管理上の便宜性を向上させることを目的としている。

（考案の構成）

本考案は、上記目的を達成するため、画情報を送・受信するファクシミリ装置において、各送信先との時差を記憶するメモリと、現在時刻を計時するタイマと、を設け、送信先の電話番号が入力されると、現在時刻と送信先との時差から送信先の時刻を演算し、該送信先の時刻を画情報に付加して送信することを特徴とするものである。

以下、本考案の実施例に基づいて具体的に説明する。

第1、2図は本考案の一実施例を示す図である。

第1図において1はファクシミリ装置であり、ファクシミリ装置1は制御部2、網制御部3、変復調部4、データ圧縮・再生部5、バッファ部6、スキャナ7、プロッタ8、キャラクタ・ジェネレータ9、リアルタイム・クロック（タイマ）10および時差記憶部（メモリ）11を備えている。

スキャナ 7 はファクシミリ装置 1 にセットされた原稿を走査して画情報を読み取り、バッファ部 6 に送る。バッファ部 6 に記憶された画情報は制御部 2 からの命令に従って読み出され、データ圧縮・再生部 5 でコード化される。データ圧縮・再生部 5 で圧縮された画情報は変・復調部 4 で変調され、網制御部 3 を通して回線に送出される。

一方、外部回線から送信されてきた画情報は網制御部 3 で受信されて変・復調部 4 に導かれ、変・復調部 4 において復調された後、データ圧縮・再生部 5 に送られる。受信された画情報はデータ圧縮・再生部 5 で原情報に再生され、バッファ部 6 に貯えられる。バッファ部 6 に貯えられた情報は制御部 2 の命令に従って読み出されてプロッタ 8 に出力され、プロッタ 8 で記録紙に記録される。

リアルタイム・クロック 10 はファクシミリ装置 1 の現在時刻、すなわち、本ファクシミリ装置 1 の設置されている場所の年、月、日および時、分、秒を計時し、制御部 2 からの命令により出力する。

時差記憶部 11 はグリニッジ標準時 (GMT) に

対する世界各国の時差、サマータイムの有無およびサマータイムの期間が第2図に示すように、データテーブルとして記憶されており、この時差情報は電話番号の国番号および市外局番をパラメータとして記憶されている。また、時差記憶部11には自局、すなわち本ファクシミリ装置1のグリニッジ標準時（GMT）に対する時差も設置時に入力される。

キャラクタ・ジェネレータ9は制御部2がリアルタイム・クロック10と時差記憶部11からのデータに基づいて演算した送信先時刻における送信時刻（受信時刻）を画情報に変換し、バッファ部6に出力する。

次に、作用を説明する。

本考案は画情報を送信する場合に、相手国の時刻に合わせて送信時刻を演算し、画情報として付加して送信するところにその特徴がある。

以下、この送信処理について第3図に示すフローチャートに基づいて説明する。

送信時、オペレータは原稿をファクシミリ装置

1 にセットし (ステップ P₁)、相手先の電話番号を入力する (ステップ P₂)。この電話番号は日本から海外に送信する場合、国番号と市外局番が入力され、制御部 2 はこの国番号が入力されたか否かにより、国外への送信か否か判断する

(ステップ P₃)。国外への送信の場合には時差記憶部 11 から国番号と市外番号に基づいて相手局との時差を演算する (ステップ P₄)。すなわち、制御部 2 は自局のグリニッジ標準時 (GMT) との時差および相手局のグリニッジ標準時との時差を時差記憶部 11 から読み出し、両局のグリニッジ標準時 (GMT) に対する時差から相手局との時差を演算する。例えば、日本から欧州であるフランスに送信する場合、日本とのグリニッジ標準時 (GMT) との時差は +11 時間であり、欧州とグリニッジ標準時 (GMT) との時差は +3 時間である。したがって、日本とフランスとの時差は 8 時間、すなわちフランスは日本より 8 時間遅れていることになる。次いで、サマータイムの有無を判断し、サマータイムのときはその時間差 (1 時

間)を演算して相手局との時差を演算する(ステップP₅)。制御部2は、リアルタイム・クロック10から自局の現在時刻を読み取り、上記時差に基づいて相手局の現在時刻を演算する(ステップP₆)。制御部2はこの現在時刻を送信時刻としてキャラクタ・ジェネレータ9に出力し、キャラクタ・ジェネレータ9で画情報に変換してバッファ部6に送る(ステップP₇)。バッファ部6はスキヤナ7で読み取られた原稿の画情報にキャラクタ・ジェネレータ9からの送信時刻の画情報を付加してデータ圧縮・再生部5に送り、データ圧縮・再生部5はこれらの画情報を圧縮して変・復調部4に送る。変・復調部4はこれらの画情報を変調し、網制御部3を介して回線に送出する(ステップP₈)。

したがって、受信側では受信した画情報をそのプロッタで記録紙に記録すると、記録紙には受信側の時刻による送信時間が記録される。その結果、受信側のオペレータは、従来のように、送信時刻(受信時刻)を知るのに時差を考慮することなく、

一見して知ることができ、受信情報の管理を有効かつ容易に行うことができる。

なお、上記実施例においては時差記憶部11に記憶する時差をグリニッジ標準時に対する時差としたが、このようにすることにより、ファクシミリ装置1の設置国がどこであっても、設置国のグリニッジ標準時との時差を入力するだけで世国の時差を演算することができ、時差記憶部11を共通して利用できるという効果がある。しかし、時差記憶部11に記憶する時差はこれに限るものではなく、各国毎にあらかじめファクシミリ装置1の設置国との時差を入れておいてもよい。

また、上記実施例では受信側の時刻による送信時刻のみを記録するようにしているが、送信側の時刻による送信時刻をも同時に記録するようにしてもよい。

(効果)

本考案によれば、受信側で、時差の計算をすることなく、受信時刻（送信時刻）が一目で知ることができ、受信情報の管理上の便宜性を向上させ

ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図～第3図は本考案のファクシミリ装置の一実施例を示す図であり、第1図はその回路ブロック図、第2図はそのメモリに格納される各国の時差のデータテーブル、第3図はその送信処理のフローチャートである。

1 ……ファクシミリ装置、

2 ……制御部、

8 ……プロッタ、

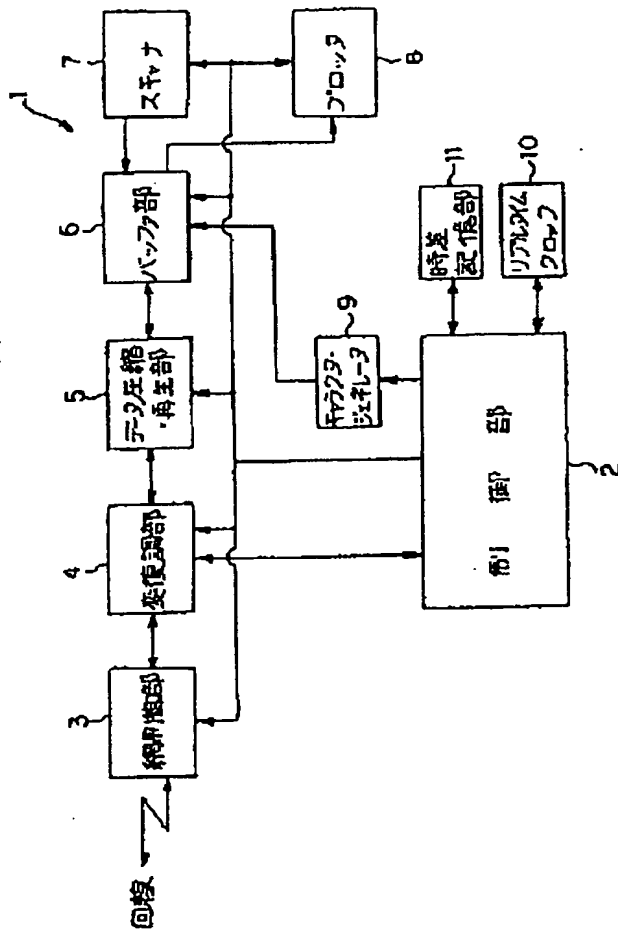
9 ……キャラクタ・ジェネレータ、

10 ……リアルタイム・クロック（タイマ）、

11 ……時差記憶部（メモリ）。

代 理 人 弁 理 士 有 我 軍 一 郎

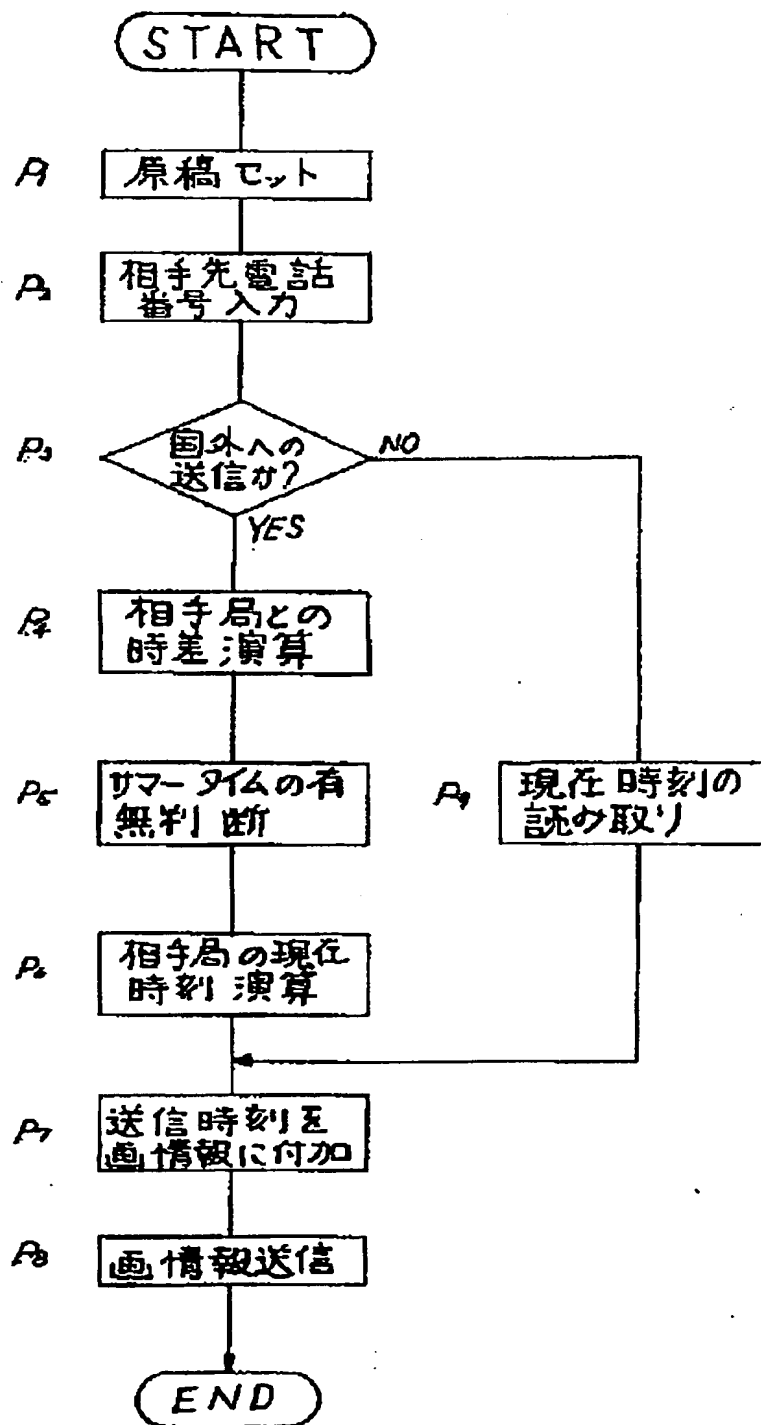
第 1 図



第 2 図

場所	GPIIの差	期間
日本	+11	0
欧州	+3	1
米(国)	-6	!
		...

第 3 図



698

実開1-126

代理人 弁理士 有我軍

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.